

日本消費者法学会第11回大会のご案内

【日時】 2018年11月11日(日) 10:00~17:30 (予定) [受付開始: 9:30]

【場所】 青山学院大学青山キャンパス (150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25)

【テーマ】 消費者被害の救済と抑止の手法の多様化—実効性確保のための執行主体のあり方

【参加費】 学会員 無料 / 一般参加者 2000円 / 学生 1000円 (開催校学生は無料)

【学会次第】

◇開会挨拶

◇報告

- | | |
|--|-----------------|
| 1 企画の趣旨と各報告の位置づけ | 松本恒雄 (国民生活センター) |
| 2 刑事・行政・民事・自主規制の組み合わせによる消費者被害の抑止と救済 —「脆弱な消費者」の包摂を意識して | 菅富美枝 (法政大学) |
| 3 消費者団体訴訟のコスト負担 | 町村泰貴 (成城大学) |
| 4 公的機関を主体とする消費者集団訴訟 | 前田美千代 (慶應義塾大学) |
| 5 検察公益訴訟と被害救済 | 白出博之 (弁護士) |
| 6 行政機関による(民事)司法手続による被害救済 | 初岡宏成 (北海道教育大学) |
| 7 行政処分による被害救済 | 宗田貴行 (獨協大学) |

コメンテーター

河上正二 (青山学院大学)

山本隆司 (東京大学)

池本誠司 (弁護士)

◇ディスカッション

◇閉会挨拶

※プログラムは変更する場合がございます。

※参加申込みを含む詳しいご案内については、9月上旬頃にあらためてお送りいたします。

※終了後、懇親会が行われます。